

エムグラントが「けん三元加盟店の『けんしろう』」の商標の使用停止求める

ステーキ専門店「ステーキハンバーグ&サラダバー けん」をフランチャイズ（FC）展開しているエムグラントフードサービス（エムグラント、本社・東京都渋谷区、井戸実社長）は、元「けん」のFC加盟者が「ステーキハンバーグ&サラダバー けんしろう」を営業していることについて、その看板などの商標が、エムグラントが所有する商標権の侵害に当たるとして、元加盟オーナーに対し「けんしろう」の商標の使用停止を求め、法的措置も辞さない構えだ。

この店は石川県野々市市にある「ステーキハンバーグ&サラダバー けん野々市店」だったもので、このフランチャイズオーナーと本部の合意の下に二〇一三年三月FC契約を解除。

その後、野々市店のオーナーが同店跡地に「けんしろう」というブランドでオープンしたが、「けん」と「けんしろう」のロゴが酷似していることから、本部のエムグラントが商標の使用停止を求めたもの。

つば八が石焼ステーキ専門店「ジャストミート」を開店

居酒屋「つば八」などをフランチャイズ（FC）展開するつば八（本社・東京都中央区、塩野入稔社長）は、生パスタ工房「ネオジバング」の経営農大通り店を閉店し、今年五月一日から、新業態の石焼ステーキ専門店「ジャストミート」をオープンした。

ネオジバング経営農大通り店は二〇一二年五月一日にオープンしたビルイン型店舗だが、ネオジバングは今後、ショッピングセンター内のフードコートへ重点的に出店することから、新業態の石焼ステーキ専門店を実験的に開店したという。

メニューはワンポンドステーキ二五〇〇円、サーロインステーキ九八〇円、熟成リブロース七八〇円、手ごねハンバーグ六八〇円、熟成ハラミステーキ七八〇円、味噌チキン五八〇円などでいずれもターメリックライスか普通のライスのどちらかを選べる。トッピングとして目玉焼き（五〇円）がある。

ドリンクのコーヒー、ウーロン茶などが二〇〇円、ビール・有機ワインが三五〇円などとなっている。

ラーメン専門店の「直久」のFC二号店が東京・人形町にオープン

ラーメン専門店の「直久」をフランチャイズ（FC）展開するフククルフーズ（本社・東京都中央区、橋本朋都社長）は、四月二四日にFC一号店となる「麺処直久人形町店」をオープンした。

大正時代から約一〇〇年の歴史を持つ正統派東京ラーメンの直久には「らーめん直久」とメニューが豊富でやや価格帯の高い「麺処直久」の二つのブランドがあるが、今回の人形町店は麺処直久で、純鶏らーめん（五五〇円）や肉玉雲呑（七八〇円）など、直久にはないメニューも用意されている。

この人形町店は店舗面積が一九坪・三四席で月商目標を五〇〇万円としているが、オープン以来、日販ベースで約三〇万円を売り上げているため、客の混雑を考慮して席数を七席ほど減らした日もあるほど好調。

この状態が続けば月商八〇〇万〜九〇〇万円ペースとなり、総投資額約二



昔ながらの中華そばが中高年世代に支持を得て好調なスタートとなった麺処直久人形町店

四〇〇万円（物件取得費約七〇〇万円含む）の投資回収期間も相当に短縮すると見られている。

フククルフーズは今年中に東京を中心にFCで二〇店を出店する計画で、中央線や東急東横線沿線で店舗物件が出次第、出店をする予定だ。

吉野家HDとアイスクリーム専門店「レムソンス」がFC契約

吉野家ホールディングス（本社・東京都北区、河村泰貴社長）は女性ファッション衣料などの販売を手がけるピームス（本社・東京都新宿区、設楽洋社長）とソフトクリーム&ヨーグルト専門店「レムソンス バイピームス」のフランチャイズ（FC）契約を結び、三年間で三〇店を出店する計画だ。

「レムソンス」は「フレッシュネスバ



「レムソンス」は東京ソラマチにも出店し、現在4店舗を数える

ーガー」の創業者の栗原幹雄氏が社長を務めるフライドグリーンマト（本社・東京都港区）が、ピームスとマスタライセンズ契約を締結してFC展開。レムソンスの加盟店募集、運営マニュアル作り、加盟店指導・研修などFC事業のビジネスモデルを構築、既に、レムソンスの直営店四店を出店している。

一方、栗原氏は今年四月一日、吉野家HDグループ企業のピーターバンコムコ社長に就任しており、今後は、レムソンスをテコに業績が悪化しているピーターバンコムコを再建する考えだ。

日本KFCが来年四月から持株会社制に移行し三事業会社に分割

日本ケンタッキーズ・フライド・チキン（日本KFC、本社・東京都渋谷区、渡辺正夫執行役員社長）は、来年四月一日付で日本KFCホールディングスに社名を変更し、持株会社体制へ移行する。三菱商事が筆頭株主で六四・八二%保有しているが、引き続き上場を維持する予定。

また、事業の承継会社として今年五月一六日、ケイ・ダイニング、レッド

ーフ・ピザ、レッドルフ・ナチュラルの三社を設立、いずれも日本KFC社長の渡辺正夫氏が社長に就任している。

ケイ・ダイニングはKFC事業、レッドルフ・ピザはピザハット事業、ナチュラル・ピザはピザハット・ナチュラルなどの事業を継承し、二〇一三年三月期の売上高はそれぞれ六四〇億九九〇〇万円、一五五億六二〇〇万円、五億三八〇〇万円だった。

二〇一四年度の売上高（直営とフランチャイズ合計）はKFC事業が一七〇億九九〇〇万円（前期比五・一%増）を見込み、期末店舗数は一二〇八店で純増は二八店。ピザハット事業は二四七億六三〇〇万円（同一・八%増）を見込み、期末店舗数は三六九店で純増は四店となっている。

「京都東山トイレ診断士の殿堂」が京都・高台寺公園に誕生

トイレメンテナンスの「アメニティ ネットワーク」をフランチャイズ（FC）展開するアメニティ（本社・横浜 市神奈川区、山戸里志社長）は、二〇〇九年四月に東京都渋谷区の渋谷区役所前の公衆トイレのネーミングライツ